

杉戸町記者発表資料

- 平成28年3月2日（水）
- 担当課 商工観光課
- 担当者 伊坂、古谷
- 電話番号 0480-33-1111（内線307）

杉戸宿開宿400年プロジェクト第10弾 杉戸農業高校と町内企業の共同開発「杉戸宿新グルメ」が続々と商品化！ ～「杉戸宿新グルメ」商品化発表会が開催されました～

杉戸町商工会と町商工観光課では、杉戸宿開宿400年に向けて杉戸宿の魅力を発信するため、杉戸町の歴史や食文化をテーマに、新たな杉戸宿グルメの創出を目的として「食資源開発部会」を立ち上げ、「県立杉戸農業高校」との協働で開発を進めてきました。

このほど、杉戸宿新グルメの柱として位置づけている「たまごふわふわ」を、杉戸農業高校食品流通科の生徒が開発したレシピを基に、町内の2事業者が杉戸宿新グルメとして商品化し、販売を開始することにもない、発表・試食会が下記のとおり開催されました。

記

■ 杉戸宿新グルメ商品化発表会及び試食会概要

1、日時 平成28年2月29日（月） 15時～

2、場所 杉戸天然温泉「^{うた}雅楽の湯」（レストラン）
（住所：杉戸町杉戸2517 ☎0480-53-4126）

3、発表・試食品 2事業者 3品

事業者名	商品名
杉戸天然温泉「 ^{うた} 雅楽の湯」	・たまふわ杉農カレーうどん
アトリエ・ル・ミュゲ	・ふわとろたまふわプリン ・たまふわクリームシフォン

4、試食会参加者

- 杉戸町 古谷 松雄 町長
島田 厚 副町長 他
- 杉戸町商工会 新井 武 会長
- ^{うた}雅楽の湯 星野 忠司 代表 他
- アトリエ・ル・ミュゲ 渋谷 忠明 代表
- 埼玉県立杉戸農業高等学校食品流通科生徒10人、梅澤校長 他
- 美食プロデューサー 小松美貴子 氏
- 日光歴史街道活性化コンソーシアム 岡本淳芳 事務局長

5、その他 □添付資料 【資料】杉戸宿開宿400年プロジェクトの歩み

■ 発表・試食品

事業者名	発表・試食予定品
<p>杉戸天然温泉「^{うたな}雅楽の湯」</p> <p>《事業者情報》 杉戸町内の温浴施設。@nifty主催の全国人気温泉ランキングで3年連続第1位 (HP) http://www.utanoyu.com/index.html</p>	<p>たまふわ杉農カレーうどん (平成28年1月15日発売、既に人気メニュー)</p> 
<p>アトリエ・ル・ミュゲ</p> <p>《事業者情報》 杉戸高野台西口商店街にある洋菓子の人気店 (HP) http://www.le-muguet.jp</p>	<p>ふわとろたまふわプリン (3月発売開始予定)</p> 
	<p>たまふわクリームシフォン (3月発売開始予定)</p> 

■事業者などのコメント

□事業者

・杉戸天然温泉「雅楽の湯」

「たまふわ杉農カレーうどん」は、9月の杉戸農業高校での中間発表会で見たときに良いと思った。既に1月15日から販売を開始しているが、全メニュー31品の中の3位と人気メニューになっている。

これからも、町の皆さまと連携して事業をしていきたい。

・アトリエ・ル・ミュゲ

発想の良さと、杉戸農業高校生徒の熱意が感じられたため、商品化を決意した。生徒たちの頑張りのもあり、良い商品に仕上がった。

是非、多くの方に食べていただきたい。

□杉戸農業高校

・梅澤校長

商品開発をするにあたり、これほど、生徒と事業者が深く結びついて作り上げた例は、県内でも今まで無かったのではないかと。

それほど、今回の企画にあたっては生徒たちも努力と苦勞をした。

生徒にとっても勉強になり良い思い出になると思う。

・担当教諭 食品流通科 奥田文子

1年間の生徒達の努力がすばらしい形で成果となり、大変嬉しいです。杉戸宿開宿400年本番の年、生徒達のさらなる活躍を期待します。

□杉戸町長 古谷 松雄

とても美味しい。大変良くできた商品だ。杉戸農業高校と杉戸の事業者と一緒に作った商品で、杉戸町長としても誇らしい。

これからも頑張ってもらいたい。

■商品化された生徒達の感想（コメント）

【カレーうどん】

□1年4組 食品流通科 坂本彩人

自分達の考案したものが、自分の理想に近い形で商品化されることはないの
で、とてもラッキーだと思う。

【プリン】

□2年4組 食品流通科 木内未来

すごい！！自分たちの作品がお店のショーケースに並べてもらえるなんて感動です。

【シフォン】

□2年4組 食品流通科 森田菜緒

自分達の努力が形となりとても感動しました。たまふわスイーツとして杉戸町に広がって欲しいです。

□1年4組 食品流通科 小川千陽

見た目もオシャレで嬉しいです。たくさんの人に食べてもらいたいです。

■ 試食会の様子

一言述べる
杉戸天然温泉雅楽の湯 星野代表



一言述べる
アトリエ ル・ミュゲ 渋谷代表



「たまふわ杉農カレーうどん」の
出来栄えに一同笑顔



後引く美味しさ
「たまふわ杉農カレーうどん」



美味しさに笑みがこぼれる
(左から古谷町長、新井商工会長、梅澤校長)



「ふわとろたまふわプリン」を
じっくり味わう男子生徒



「たまふわクリームシフォン」に
フォークを入れる女子生徒



一言述べる梅澤校長



一言述べる古谷町長



杉戸宿新グルメ三品が商品化されました。



■「杉戸宿新グルメ」創出までの道のり

平成26年度

1、歴史と食を再発見、「食資源開発部会」の立ち上げ

町では、杉戸宿を訪れた人々が、食べたり、お土産にできる「杉戸宿新グルメ開発」を目的に、商工会を中心に「日光街道杉戸宿魅力再発見事業、食資源開発部会」を立ち上げ、検討開発を進めてきました。

2、「食資源開発部会」の活動

「食資源開発部会」には、地元杉戸の菓子屋・蕎麦うどん屋・酒屋・お茶屋などの7人の店主が参加し、また、料理研究家や有識者（JTB・日光街道専門家）も参加し、アドバイスをするなどの会合を行いました。

3、杉戸宿新グルメの開発に向けて

杉戸宿新グルメの開発にあたり、杉戸宿の本陣で提供していたお品書きなどの調査や、地元の主婦（高齢者）などに聞き取り調査を行い、当時の杉戸の「食」について調べ、検討を行いました。

4、杉戸宿新グルメ試食会

平成27年2月9日(月)に、当年度の研究成果の発表を兼ねた試食会を開催しました。

(杉戸宿新グルメの柱)

- ・杉戸宿本陣で供された「玉子ふわふわ」の活用
- ・埼玉県オリジナル「丸系ヤツガシラ」の活用
- ・昔も今も重要な食材「地元の味噌」の活用
- ・水も添加物も使わない「柿酢」の活用を柱にグルメ開発を進めるに至る。



平成27年度

5、県立杉戸農業高校との協働

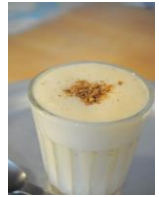
杉戸宿新グルメの製品開発や提供店の普及、生産等供給体制の検討などを進めるため、県立杉戸農業高校食品流通科との協働での開発を開始しました。

平成27年9月14日(月)に、杉戸農業高校生徒が開発した参考レシピの発表会及び試食会を開催し、町内提供店の普及を図りました。



6、杉戸宿新グルメ「金ゴマ入りたまふわミルクセーキ」の試験販売を開始

杉戸宿新グルメの研究成果として、杉戸宿新グルメの柱である「玉子ふわふわ」を活用し開発した新グルメ「金ゴマ入りたまふわミルクセーキ」を9月22日（祝）から、道の駅「アグリパークゆめすぎと」で試験販売を開始しました。



また、同日より、東京国際フォーラムで開催されているイベント「町イチ村イチ」で販売し、2日間で480食を売り完売しました。

7、杉戸宿新グルメの普及拡大を図るため町内の飲食店に試食会を開催

杉戸宿新グルメの提供店の更なる拡大を図るため、平成28年2月9日(火)、町内の商工会員に杉戸宿新グルメのサンプルの試食会を開催しました。

試食会には、参加希望のあった17事業所が参加し、既に商品化の希望を頂いている事業所もあります。

■杉戸宿新グルメ商品化発表会及び試食会会場



杉戸宿開宿400年プロジェクトの歩み

■「プロジェクト第1弾 杉戸宿新グルメを創り出そう！」

杉戸町の歴史や食文化をテーマに、新たな杉戸宿グルメの創出を目的として、地元の菓子屋・蕎麦うどん屋・酒屋・お茶屋などの7店主で構成される「食資源開発部会」が「杉戸宿新グルメ」の開発を進めました。



■「プロジェクト第2弾 杉戸宿まち歩きブックの作成」

平成25年度、住民との協働で「日光街道杉戸宿魅力再発見ワークショップ」を開催し、「まちあるきマップ」を作成した後、ワークショップの参加者からのご意見や知識に加え、同年度実施した杉戸宿の資源調査（緊急雇用創出資金を活用）結果などを『まち歩きブック』としてまとめた。



■「プロジェクト第3弾 ふるさとの川にたなびく“こいのぼり”」

町のボーイスカウトの手により、平成9年より毎年の端午の節句に実施していた大落古利根川へのこいのぼり掲揚は、会員不足により平成13年が最後となりましたが、当時と同様に、ボーイスカウトの子ども達と一緒にこいのぼりの掲揚を、平成27年4月29日(水)から5月8日(金)まで復活させました。



■「プロジェクト第4弾 杉農プロデュース「杉戸宿新グルメ『杉戸宿たまふわ』」中間発表会」

地元の県立杉戸農業高等学校とのコラボレーション企画として、更なる「杉戸宿新 グルメ」開発に協力していただき、「杉戸宿新グルメ」の柱「玉子ふわふわ」を使い、生徒たち考案の杉農プロデュース「杉戸宿新グルメ『杉戸宿たまふわ』」の中間発表会を行いました。



■「プロジェクト第5弾 杉戸宿新グルメ第1号『金ゴマ入りたまふわミルクセーキ』販売開始」

プロジェクト第1弾では、杉戸宿への来街者に地域の魅力を体感して頂き、まちの活性化に繋げることを目的とした、料理、お土産品などによる「杉戸宿新グルメ」開発を進めました。

その研究成果として杉戸宿新グルメ第1号『金ゴマ入りたまふわミルクセーキ』が、9月22日（国民の休日・火）から、まちの駅・道の駅「アグリパークゆめすぎと」で販売を開始しました。



■「プロジェクト第6弾 『杉戸宿開宿400年記念ロゴマーク』完成」

来年の2016年（平成28年）に杉戸宿開宿400年を迎えることを記念し、「杉戸宿開宿400年記念ロゴマーク」が完成しました。

この記念ロゴマークは、今後、杉戸宿開宿400年に関連するイベントやプロモーションに活用していく他、町の推奨品などのパッケージなどにも活用し、杉戸宿のブランディング化を進めていきます。



■「プロジェクト第7弾 『第一回杉戸宿宿場まつり』が開催されました！」

来年の2016年（平成28年）に杉戸宿開宿400年を迎えることを記念して、平成27年12月6日（日）「第一回杉戸宿宿場まつり」を開催し、まもなく迎える開宿400年を多くの町民と一緒にキックオフセレモニーを行いました。

宿場まつりでは、日光街道沿を舞台に、甲冑などの時代装束で行われる杉戸宿町人行列などのイベントが実施され、12,000人の来場者で賑わいました。



■「プロジェクト第8弾 杉戸宿開宿400年記念フリーペーパー『スギトゴト』が創刊！」

2016年（平成28年）に杉戸宿開宿400年を迎えることを記念し、フリーペーパー「スギトゴト」を12月1日に創刊し、3万部を作成し無料配布を始めました。

「スギトゴト」は、杉戸宿開宿400年を契機に、杉戸宿の歴史や杉戸町の魅力を若い世代に知ってもらう目的から、杉戸宿にゆかりのある人や地元で頑張っている人、杉戸宿のパワースポット、若者視点の気になるお店などに焦点をあて、掲載しています。



■プロジェクト第9弾 杉戸町新マスコットキャラクター『すぎたろう』が誕生！」

町では、2016年（平成28年）の杉戸宿開宿400年を記念し、杉戸町新マスコットキャラクター「すぎたろう」を作成しました。

今後、既存のマスコットキャラクター「すぎぴょん」とコンビを結成し、杉戸宿開宿400年をPRしていきます。

杉戸町新マスコット
キャラクター
「すぎたろう」



■「プロジェクト第10弾 杉戸農業高校と町内企業の共同開発『杉戸宿新グルメ』が続々と商品化！」

町は、杉戸宿開宿400年に向けて、杉戸町の歴史や食文化をテーマに、新たな杉戸宿グルメの創出を目的として「食資源開発部会」を立ち上げ、「県立杉戸農業高校」との協働で開発を進めてきました。

そして、杉戸宿新グルメの柱として位置づけている「たまふわ」を、杉戸農業高校食品流通科の生徒が開発したレシピを基に、町内の2事業者が杉戸宿新グルメとして商品化し販売を開始しました。

